

## 開催要綱

### 「熊本から本物のインクルーシブ教育を！」

■ 日 時 2026年2月28日(土) 13時から17時まで

■ 会 場 熊本学園大学 11号館 高橋記念ホール(熊本市中央区大江2-5-1)

◆ 開催方法 対面開催

◆ 参加費 無料

◇ 主 催 「熊本から本物のインクルーシブ教育を！タウンミーティング実行委員会」

◇ 共 催 NPO法人DPI日本会議

◇ 後援(予定)

熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社

◇ 後援、助成(予定)

公益財団法人キリン福祉財団、NPO法人自立生活センターヒューマンネットワーク熊本、

熊本障害フォーラム(KDF)、日本労働組合総連合会熊本県連合会、

熊本県教職員組合、熊本県高等学校教職員組合、

◇ 協賛団体:KDF 加盟団体、居宅介護事業所、施設協会等、介護機器事業所、他

◇ 手話通訳・要約筆記有り

◇ 託児有り(要事前申し込み)

#### ■ プログラム(敬称略)

開場 12時30分

司会 佐々木希

主催者・開会挨拶 平野みどり 13時00分～13時05分

来賓挨拶 13時05分～13時15分

●第一部 13時15分～14時30分

「報告① 熊本でのインクルーシブ教育への取組み」

植田洋平(自立生活センターヒューマンネットワーク熊本事務局長)

「報告② 子どもたちから学ぶ『特別』、『普通』とは？分けることは必要？」

東絵美(重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症のある子どもの母親、  
ともまなネットくまもと)

「報告③ 通常学級と支援学校とを経験して」

橋口侑果(熊本学園大学大学院社会福祉学研究科修士課程大学院生)

「全国報告:全国各地の取り組み～学校バリアフリーと当事者参画

～インクルーシブ教育の環境整備について」

尾上浩二(DPI 日本国際タウンミーティング副議長、内閣府障害者施策アドバイザー)

休憩	14 時 30 分～14 時 40 分
●第二部	14 時 40 分～15 時 40 分
基調講演:「インクルーシブ教育はいかに実現できるか」	
小国喜弘さん(東京大学大学院教育学研究科 総合教育科学専攻教授	
専門はインクルーシブ教育・日本の教育実践史)	
休憩	15 時 40 分～15 時 50 分
●第三部 パネルディスカッション	15 時 50 分～16 時 50 分
コーディネーター: 堀正嗣(熊本学園大学社会福祉学科教授)	
パネリスト: 植田洋平、東絵美、橋口侑果、廣岡睦美(保護者)、川口久雄(教員)	
アドバイザー: 小国喜弘、尾上浩二	
閉会挨拶・お知らせ	桑本謙(医療的ケアを必要とする子どもたちの 豊かな学校生活を願う親の会・虹色の会) 16 時 50 分～17 時 00 分